

1. 科目名（単位 数）	文章表現Ⅲ（口頭発表表現）（4 単位）	3. 科目番号	GELA2317
2. 授業担当教員	安藤 伸二		
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	この授業では、自己紹介、自分の身近な問題から受講生がまとめたレポートなどの成果に至るまで、効果的にスピーチやプレゼンテーションをするための口頭表現を学び、実践的な情報発信力、コミュニケーション能力を養うためのトレーニングを進めていきます。 具体的には、自分の発表を聞き手に伝えるためには、どのような発表の「型」を取ることが適切なのか、発表資料や原稿の準備と発表を通して、実践的に訓練していきます。作成した発表資料などについては、ペアワーク、グループディスカッションを通して、受講生同士で検討していきます。その中で、発表に対する適切なコメントの仕方も練習していきます。 また、受講生のレベルに応じて、口頭表現の基礎となる日本語運用能力向上のための小テストも行います。		
8. 学習目標	1) 大学の学びの場で求められるさまざまな口頭表現の形式を理解し、自ら実践できるようになる。 2) 発表内容を適切な日本語の表現で伝えることができるようになる。 3) 発表内容に適した資料の作成ができるようになる。 4) 発表に対して、適切なコメントをできるようにする。 5) 適切な速さや大きさで、発表をすることが出来るようになる。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	授業で出された課題に真剣に取り組むこと。 日常生活において、うまくできたことをまとめ、それに意味を与える習慣をつけること。 質問したり、議論したりすることに慣れようと努力すること。		
10. 教科書・参考 書・教材	教科書なし。 都度、配布資料を用いる。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1) 大学の学びの場で求められるさまざまな口頭表現の形式を理解し、自ら実践できるようになったか。 2) 発表内容を適切な日本語の表現で伝えることができるようになったか。 3) 発表内容に適した資料の作成ができるようになったか。 4) 発表に対して、適切なコメントをできるようになったか。 5) 適切な速さや大きさで、発表をすることができるようになったか。 ○評定の方法：以下の点を総合して評価する。 1 授業への参加態度 総合点の 30% 2 試験(小テスト、口頭発表試験等) 総合点の 40% 3 提出課題 総合点の 30%		
12. 受講生への メッセージ	自分に「できないこと」より「できること」を見つける努力がこの授業に参加する前提条件です。常に新しい自分を発見し、自分にできることを増やすことは、対人関係やコミュニケーション、自己表現や発信力の向上にとってとても重要です。 自信に満ちた発信こそ人に伝わります。では、どうすれば人と交流し、発信する際、自信のある対応ができるでしょうか。この授業で教科書の理論や方法を日常生活の実際に結び付けながら、ともに効果的な自己表現やコミュニケーションについて考えていきましょう。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション： ―授業の目的、方針、進め方について	事前学習	シラバス等で本授業の目的や趣旨を理解しておくこと。
		事後学習	今の社会を生きる上で人と交流することの必要性和難しさについて実体験に基づきまとめる。
第 2 回	人と交流するとは？	事前学習	実体験に基づいた発表の準備を行う。
		事後学習	課題「自分の得意なこと」「人に自慢できること」「特に凝っていること」...等についてまとめる。
第 3 回	自分を見つける：①課題発表とディスカッション	事前学習	出された課題について発表準備を行う。
		事後学習	授業での発表と討論を通しての感想と新しい発見等をまとめ、意味付けを行う。
第 4 回	自分を見つける：②課題発表とディスカッション	事前学習	出された課題について発表準備を行う
		事後学習	授業での発表と討論を通しての感想と新しい発見等をまとめ、意味を与える。
第 5 回	自分を伝える① ―何を伝えたい？	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	伝えたい内容を如何に整理するかについて、その具体的な方法や手順をまとめる。

第 6 回	自分を伝える② ー伝えるために必要な情報を整理する	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	あふれる情報の中に自分にとって必要な情報をどう選択し、どう整理するかについて要点をまとめる。
第 7 回	伝えたいことを口頭で伝えることのポイント	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	スピーチに必要なポイントをおさえ、次の発表準備に備える。
第 8 回	伝えたいことを口頭で伝えてみよう！ (発表とディスカッション)	事前学習	発表の準備。
		事後学習	発表とディスカッションを通して気づいた点や今後改善したい点を整理し、まとめる。
第 9 回	伝えたいことを文書で伝えてみよう！ (願書の書き方についての発表と討論)	事前学習	配布資料を読み、「願書」を作成する。
		事後学習	授業を通して気づいた点や改善点を整理し、まとめる。
第 10 回	レポートで自分の考え方を主張してみよう① (発表とディスカッション)	事前学習	自分の興味ある事象について調べ、レポートを作成する。
		事後学習	発表とディスカッションで気づいた点や今後の改善点についてまとめる。
第 11 回	レポートで自分の考え方を主張してみよう② (発表とディスカッション)	事前学習	自分の興味ある事象について調べ、レポートを作成する。
		事後学習	発表とディスカッションで気づいた点や今後の改善点についてまとめる。
第 12 回	レポートで自分の考え方を主張してみよう③ (発表とディスカッション)	事前学習	自分の興味ある事象について調べ、レポートを作成する。
		事後学習	発表とディスカッションで気づいた点や今後の改善点についてまとめる。
第 13 回	ブックトークを通して意見交換してみよう！ 本を読まずに済む時代？(ディスカッション)	事前学習	自分の読書経験についてまとめる。
		事後学習	読書の現状について情報を共有し、考え方の違いを整理する。
第 14 回	本を読むことの意義(日米学生の読書事情)	事前学習	読書の意義について資料を収集し読む。
		事後学習	ディスカッションで共有できた読書の意義について整理し、まとめる。
第 15 回	読みたい本や記事の探し方(情報収集方法)	事前学習	教科書 7-8 課「ブック・トーク①」pp.40-51 を読む。
		事後学習	ネット上での情報収集の利点と限界をまとめる。
第 16 回	知りえた情報を伝える(根拠の検証と説明モデル)	事前学習	読書や記事の閲覧を通して読み取った情報をまとめる
		事後学習	読み取った情報を伝えるための根拠と発信方法をまとめる。
第 17 回	同じ題材を扱った本(あるいは記事)を読み、議論してみよう！(①内容選定のための議論)	事前学習	興味のある題材・記事を選択する。
		事後学習	議論を通して決まった題材について本・記事を収集する。
第 18 回	同じ題材を扱った本(あるいは記事)を読み、議論してみよう！(②テーマの吟味とガイドラインの作成について話し合う)	事前学習	配布資料を読み、グループ協議で割り当てられた題材に基づき発表の枠組みを考えておく。
		事後学習	テーマと文書作成のガイドラインに基づきレポートを作成する。
第 19 回	③口頭による発表とディスカッション	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	発表とディスカッションを通して新しく得られた知見についてまとめる。
第 20 回	④口頭による発表とディスカッション	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	発表とディスカッションを通して新しく得られた知見についてまとめる。
第 21 回	⑤口頭による発表とディスカッション	事前学習	発表準備を行う。
		事後学習	発表とディスカッションを通して新しく得られた知見についてまとめる。
第 22 回	読書で得られた情報をレポート作成に生かす(倫理と方法)	事前学習	配布資料を読む。
		事後学習	読書で得られた情報を如何に活用するか 知的財産の活用において求められる倫理と方法についてまとめる。
第 23 回	パワーポイントで伝えたいことを伝えてみよう！	事前学習	パワーポイントによる表現の強みと特徴を調べておく。
		事後学習	伝えたいテーマについて PP 資料を作成する。
第 24 回	パワーポイントによる発表とディスカッション①	事前学習	パワーポイントの作成。
		事後学習	発表とディスカッションを通して得られた知見と改善点をまとめる。

第 2 5 回	パワーポイントによる発表とディスカッション②	事前学習	パワーポイントの作成。
		事後学習	発表とディスカッションをとおして得られた知見と改善点をまとめる。
第 2 6 回	パワーポイントによる発表とディスカッション③	事前学習	パワーポイントの作成。
		事後学習	発表とディスカッションをとおして得られた知見と改善点をまとめる。
第 2 7 回	いい質問とは何か ー聞くことと問うことのマナーと要領	事前学習	様々な「質問」の在り方を調べてみる。
		事後学習	コミュニケーションや学問領域で効果的質問の要点をまとめる。
第 2 8 回	面接における効果的な自己 PR について考える① (ディスカッション)	事前学習	入試や採用面接時の質問と応答を予測してみる。
		事後学習	自分を表現し、理解してもらうためのポイントを整理する。
第 2 9 回	面接における効果的な自己 PR について考える② (ロールプレイとディスカッション)	事前学習	幾つかの特定の場面設定を行い、そこでの応答について予測を立ててみる。
		事後学習	効果的自己 PR の要点を整理し、まとめる。
第 3 0 回	授業のまとめ (口頭発表)	事前学習	授業で学んだことを整理する。
		事後学習	今後の実践の場において生かすべき要点を整理しまとめる。